

お寺の本堂はロビーに隣接しており、このホテルの存在を特別なものとしています。

Mitsui Garden Hotel Kyoto Kawaramachi Jokyoji

この度インターカルチャーアートは三井ガーデンホテル京都河原町浄教寺パブリックエリアのアートを担当しました。平安時代に建立されたお堂に由緒のある浄教寺。その地に併設されるホテルに置かれることを意識し、寺の歴史や遺物を受け継ぎながら、この場所に流れていた時間や精神を現代に活かし未来へ繋ぐことを目的としてアートを制作しました。ただ伝統を模倣するのではなく、過去と現代を幾層ものレイヤーで重ね、人々の心の中に新しい発見をもたらすことができる空間を目指しました。

名称
三井ガーデンホテル京都河原町浄教寺
開業
2020年9月
運営
三井不動産株式会社
インテリア設計
株式会社 日建スペースデザイン

1F Lobby



ビッグアート「空」宮村弦
ロビーの吹き抜けには現代書家の作品を象徴的に設置しました。躍動する線は常に変化していく世界の象徴であり、地上界から天空に向かって伸びていく気を表しています。「無」から「有」へ、「過去」から「未来」へ、時代を超えて人々の心の中に流れる意識が抽出して表現されており、この建物の意味を伝える象徴的な作品となっています。



ロビーに置かれた浄教寺の遺物、象の「木鼻」とも調和し無二の空間を作り上げています。

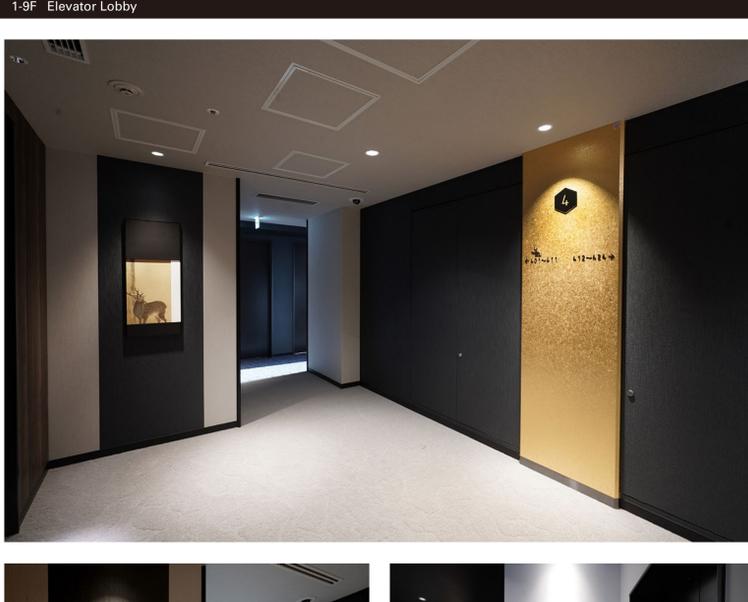
1F Entrance



長持アート
浄教寺で長く使われていた長持を元にエントランスアートを製作しました。新しいメタルの枠に古い長持に使われていた金具を取り付けました。長く寺の事が取められてきた長持は、訪れる人々に寺の歴史を語るとともに、人々が解いた世俗の荷を納め、ホテル内の特別な空間へ導く象徴的な役割を果たします。



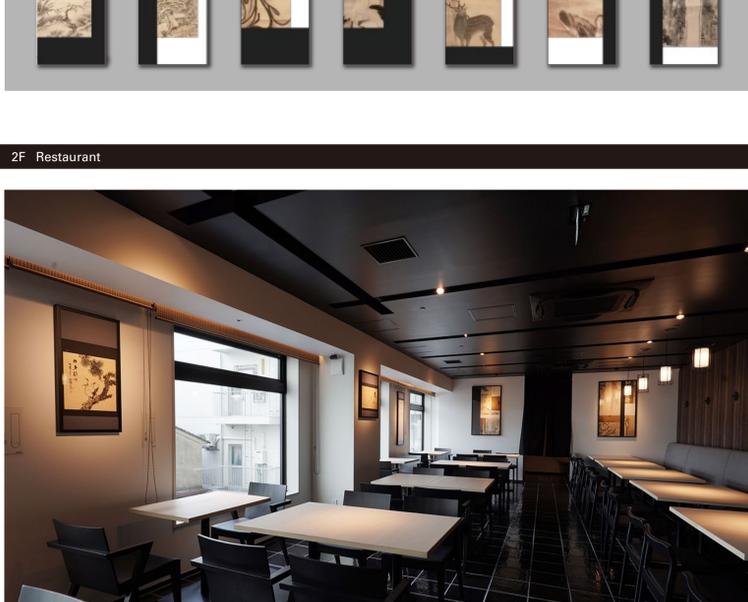
1-9F Elevator Lobby



EVホール
浄教寺に所蔵されていた掛け軸を元に製作した壁面アート。掛け軸は日本家屋にあって人々をもてなす主要な装飾であり、思いや信仰を伝えるツールでもありました。浄教寺に収蔵されてきた掛け軸を、その思いを引き継ぎながら大胆にカットし再構成することによって、コンテンポラリーアートとして生まれ変わりました。



2F Restaurant

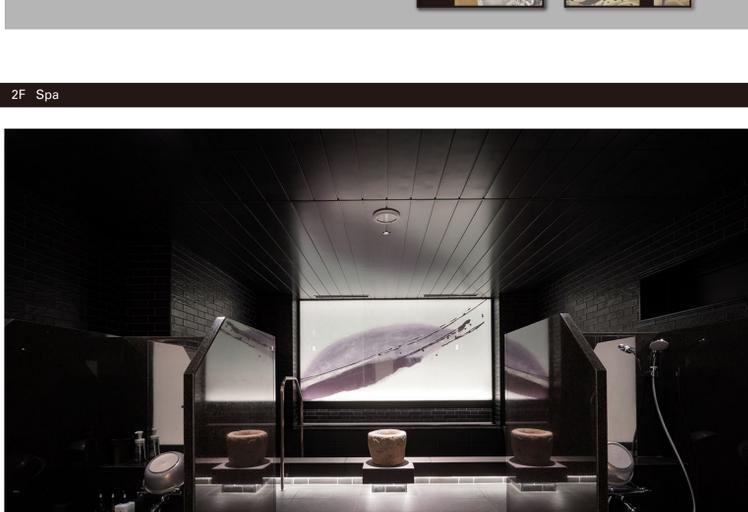


2Fレストラン アート

レストランのアートも浄教寺に所蔵されてきた掛け軸を元に製作しました。窓側の作品は本来の掛け軸のスタイルを守りながら現代的に額装しました。壁側の作品はEVホール製作のためにカットした絵巻のピースを再構成して製作し、館内とイメージが繋がるようにしました。



2F Spa



女子大浴場

男子大浴場

大浴場アート

水面に浮かび上がる水墨画。日本の伝統絵画の特徴でもある静謐さ、強靱な線の動きを活かし、女子大浴場は「輪廻」、男子大浴場は「無常」をテーマとして大画面に展開しました。

